

BL部品（優良住宅部品）
テレビ共同受信機器
3224MHz改修用直列ユニット
（上り信号カット機能付）

1端子型
BL7F-7SE (BL型式:SH-7F-7S)
(中間用)
BL7F-RSE (BL型式:SH-7F-RS)
(端末用)

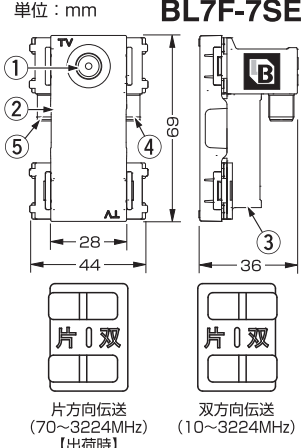
2端子型
BL77F-7SE (BL型式:SH-77F-7S)
(中間用)
BL77F-RSE (BL型式:SH-77F-RS)
(端末用)

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

各部の名称と外形寸法

BL7F-7SE

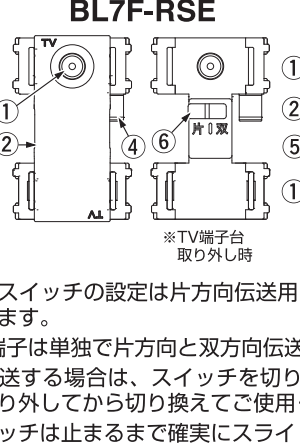


単位：mm

片方向伝送 (70～3224MHz) 【出荷時】

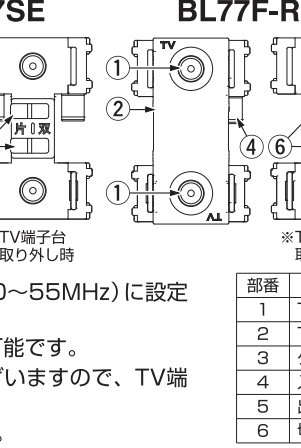
双方向伝送 (10～3224MHz)

BL7F-RSE



※TV端子台 取り外し時

BL77F-7SE



※TV端子台 取り外し時

BL77F-RSE



※TV端子台 取り外し時

※出荷時、スイッチの設定は片方向伝送用（上り帯域カット10～55MHz）に設定されています。

※上下TV端子は単独で片方向と双方向伝送用の切り換えが可能です。

※双方向伝送する場合は、スイッチを切り換える必要がございますので、TV端子台を取り外してから切り換えてご使用ください。

※切換スイッチは止まるまで確実にスライドさせてください。

部番	名 称
1	TV端子
2	TV端子台
3	ケース
4	入力端子
5	出力端子
6	切換スイッチ

BL部品とは



一般財団法人ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービスなどに優れた住宅部品を基準に基づき評価し認定した住宅部品です。BL部品にはさらに保証責任保険と賠償責任保険が付保されていますので、安心してご利用できます。

保証期間

本製品の保証期間は、商品お引渡しの日から5年間です。保証期間内に取扱説明書・施工説明書の記載事項に従った正常な使用状況で故障した場合、ご購入店または「お客様窓口」にお申し付けください。ただし、下記免責事項に該当する場合は保証期間内でも有償修理となります。

免責事項

- ①住宅、事務所、学校、病院、ホテルまたは旅館以外で使用した場合の不具合。
- ②ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
- ③メーカーが定める施工説明書等を逸脱した施工に起因する不具合。
- ④メーカーが認めた者以外の者による住宅部品の設置後の移動・分解などに起因する不具合。
- ⑤建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象。
- ⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- ⑦ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
- ⑧火災・爆発事故・落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異または戦争・暴動など破壊行為による不具合。
- ⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。
- ⑩電気の供給トラブルなどに起因する不具合。

取扱上のご注意

取付工事は専門の施工業者にご依頼ください。

性能規格

		挿入損失 (dB以下)								結合損失 (dB以下)								逆結合損失 (dB以上)								端子間結合損失 (dB以上)								電圧定在波比 (以下)								質量 (g)
周波数帯域 (MHz)		10 └ 55	70 └ 300	300 └ 770	1000 └ 1489	1489 └ 2150	2150 └ 2681	2681 └ 3224	10 └ 55	70 └ 300	300 └ 770	1000 └ 1489	1489 └ 2150	2150 └ 2681	2681 └ 3224	10 └ 55	70 └ 300	300 └ 770	1000 └ 1489	1489 └ 2150	2150 └ 2681	2681 └ 3224	10 └ 55	70 └ 300	300 └ 770	1000 └ 1489	1489 └ 2150	2150 └ 2681	2681 └ 3224	10 └ 55	70 └ 300	300 └ 770	1000 └ 1489	1489 └ 2150	2150 └ 2681	2681 └ 3224						
BL7F-7SE (SH-7F-7S)	双方向	1.8	1.8	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	12	12	12	13	15	16	17.5	15	25	20	18	15	15	15	—	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	85					
	片方向	1.8	1.8	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	40 以上	14	13	14	16	17	18.5	15	25	20	18	15	15	15	—	—	—	—	—	—	—	2.0 ※	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5						
BL7F-RSE (SH-7F-RS)	双方向	—	—	—	—	—	—	—	9	9	9	10	11	12	13.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	85					
	片方向	—	—	—	—	—	—	—	40 以上	11	10	11	12	13	14.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0 ※	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5						
BL77F-7SE (SH-77F-7S)	双方向	1.8	1.8	2.0	2.5	3.5	4.0	4.0	15	15	16	18	19	20	22	15	25	20	18	15	15	15	13	20	18	15	15	15	15	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	90					
	片方向	1.8	1.8	2.0	2.5	3.5	4.0	4.0	40 以上	17	17	19	20	21	22	15	25	20	18	15	15	15	13	20	18	15	15	15	15	2.0 ※	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5						
BL77F-RSE (SH-77F-RS)	双方向	—	—	—	—	—	—	—	13	13	13	14	15	16	16.5	—	—	—	—	—	—	—	—	13	20	18	15	15	15	15	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	90				
	片方向	—	—	—	—	—	—	—	40 以上	15	14	14	15	16	16.5	—	—	—	—	—	—	—	—	13	20	18	15	15	15	15	2.0 ※	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5					

※インピーダンス：75Ω (F型)

※TV端子側は除く 漏洩電界強度 (3mの距離において)：70～770MHz (34dBμV/m以下)、1000～3224MHz (40.2dBμV/m以下)

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	絵表示の例	 △記号は注意 (注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		 ○記号は禁止 の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
			 ●記号は行為を強制 したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般指示)が描かれています。

機器固定ねじは確実に締め付ける。



指示

- ゆるみがあると、機器が落下してけがの原因となることがあります。
- 締付トルクが指定されている場合はその指定のトルクで締め付けてください。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。

メンテナンス

いつまでも美しいテレビ映像をお楽しみ頂くために、1年に1回は専門業者に保守・点検を依頼してください。

施工説明書

ご使用前にこの施工説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

- 当社の定める施工説明を逸脱しない方法で据付工事を行い不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマーク証紙の貼付(または刻印等)がされている部品については、同財団のBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- BLマーク証紙の貼付(または刻印等)がされている部品については、万一、当社または設置工事施工者が瑕疵保証責任等の責務を果たすことができなかった場合、これに代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度については、同財団のホームページ(<https://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、同財団(TEL03-5211-0680)でもお受け致します。

●設置場所・条件

- ①雨水のかかる場所や高温になる場所、有毒ガスなどが発生する場所への設置はさけてください。
- ②電気配線、電気工作物の近くや強電磁場への設置はさけてください。
- ③メンテナンスが容易な場所に設置してください。
- ④本製品は改修用部品です。設置条件や機能に問題ないことをご確認の上、ご使用ください。

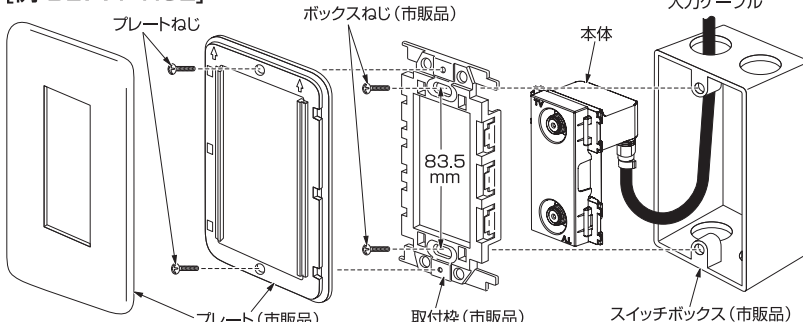
●使用部品

- ①同軸ケーブルは「S-5C-FB」、「S-7C-FB」相当以上のJIS規格品をご使用ください。
- ②接栓は同軸ケーブルに適合した「C15形」または同等以上のものをご使用ください。

●取付方法

- ①ケーブルを本体に接続し、取付枠に取り付けます。
- ②本体を取り付けた取付枠をスイッチボックスへ取り付け、プレートを取り付けます。

[例 BL77F-RSE]



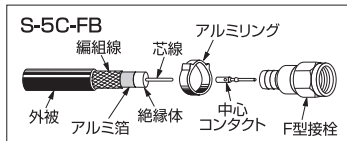
同軸ケーブル加工方法とF型接栓FP-5FB-15(K)取付方法

※F型接栓FP-5FB-15(K)は別売りです。

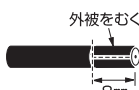
◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

■各部の名称



- ①カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



- ②外被をむき、アルミリングを通しておきます。



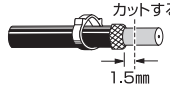
- ③外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



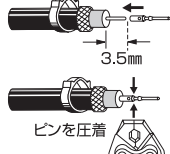
- ④編組線をめくり返します。



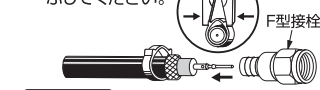
- ⑤編組線から1.5mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。



- ⑥芯線を3.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないうかシメます。



- ⑦F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをベンチなどですまんできちんと固定してください。



ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにしてください。



注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。

●F型接栓締付トルク 2.0N・m

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30
(土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8

ホームページアドレス <https://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7129939 2024年5月